

1. 研究テーマ

資源循環分野における基盤的な技術・システムの開発・評価に関する研究

2. 所属

国立環境研究所 福島地域協働研究拠点または資源循環領域

3. 募集人数

テニュアトラック型任期付研究員 1名

4. 研究内容

資源循環や廃棄物問題を取り巻く急激な社会状況の変化のもとで、脱炭素社会や海洋プラスチック問題等を同時に解決しながら、資源の持続可能な利用による循環経済の実現が求められている。一方、福島第一原発事故による環境汚染からの環境再生の取組みは、脱炭素社会実現等を含めた環境創生の新しい段階に入ってきている。

このような背景のもとで、国立環境研究所における資源循環分野においては、資源の持続可能な利用と廃棄物に至るまでのライフサイクル全体を通じた環境負荷低減のための総合的な研究を行っている。また、福島を含む被災地の環境再生とともに、脱炭素化に資する資源循環を基調とした技術・システムの研究開発を進めている。

そこで本公募では、脱炭素社会と福島復興との両立を含む持続可能な資源循環の技術システム、またはそれを支える基盤技術の研究開発に自立的に取り組み、社会ニーズの変化に応じた新たな研究テーマにも意欲的に挑戦し切り拓くことができる人材を募集する。当面の具体的な研究として、以下の三つのテーマのいずれかに貢献することが望まれる。

1) 福島における脱炭素社会を実現するための技術導入戦略に関する研究

福島における中間貯蔵施設区域およびその周辺区域の復興と脱炭素社会との両立を目指して、再生利用可能な廃棄物や除去土壌、バイオマス等の脱炭素型資源循環システムの在り方や創造的復興のための技術導入戦略を、システム工学的視点から評価する。

2) ゼロカーボン型の資源循環を支える基盤技術の開発に関する研究

熱化学的及び生物工学的変換を基礎として廃棄物系バイオマス等を、ケミカル、材料、燃料へリサイクルする脱炭素型資源循環技術を開発する。

3) ナノ・マイクロプラスチック問題解決に資する基盤技術に関する研究

化学分析手法によるナノ・マイクロプラスチックの挙動解明、排出抑制もしくは無害化等基盤技術（分析・リスク評価技術を含む）を開発・評価する。

5. 応募資格

(1) 採用時点で、博士の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む）、あるいは修士の学位を有し博士と同等の能力を有することが認められること。

(2) 以下のいずれかの研究分野の専門性を有すること。

4の1)の研究内容については、環境工学、システム工学、土木工学等

4の2)の研究内容については、環境工学、化学工学等

4の3)の研究内容については、応用分析化学、材料工学等

(3)「4. 研究内容」に示す研究に関連するテーマについて研究実績があり、独立して主体的に推進する能力を有すること。

(4) 研究及び業務活動に支障がない水準のコミュニケーションと研究成果の発信に関わる日本語能力及び英語能力を有すること。

6. 提出書類 ※ (1) 以外は様式自由

(1) 履歴書(写真貼付、[所定の様式](#)を使用) 1部

(2) 研究業績目録(原著論文、著書、解説、口頭発表別、競争的研究資金、学会・社会活動) 1部

(3) 主要論文別刷り又はコピー(3編以内) 各1部

(4) これまでの研究概要(A4判1~3枚程度) 1部

(5) 研究に対する抱負(上記の「4.研究内容」末尾に挙げた研究テーマ例①~⑤を参考としつつ、自身が希望する研究テーマを具体的に提案すること。A4判1~2枚程度) 1部

(6) 所見を求めうる方の推薦状 2通(国立環境研究所職員以外からの推薦状を1通以上)

※提出書類の返却不可(選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。)

7. 応募締切

2021年11月15日(月)必着

8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。

面接は2021年12初旬につくば本部で実施予定。

※面接審査においてはTeams等によるWEB面接とする場合がある。

9. 応募方法

電子送付による。

○「6. 提出書類(1)~(5)」について

電子送付の方法については、11月1日(月)までに下記15.(2)の担当者あてにメールでお問い合わせください。

その際、メールの件名を「R04-K-03 資源循環分野に関する研究 任期付研究員応募」と記載ください。

○「6. 提出書類(6)」について

推薦者から下記 15.(2)の担当者あてに直接メールで送付ください。

なお、郵送による応募を希望する場合は、封筒に朱書きで「R04-K-03 資源循環分野における研究 任期付研究員応募書類」と記載し、下記 15.(2)の担当者あてに送付ください。

10. 雇用予定時期

2022 年 4 月 1 日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

11. 雇用期間

任期は最長で 2027 年 3 月末まで。

12. 勤務地

福島地域協働研究拠点（福島県田村郡三春町）、または、つくば本部（茨城県つくば市）
ただし、琵琶湖分室（滋賀県大津市）への転居を伴う異動が有り得る。

13. 処遇等

テニュアトラック型任期付研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。

（試用期間） 6 箇月

（その他就業関係） 「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考） 国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に 6 か月以上 1 年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

14. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第 15 条の 2 の対象業務に該当します。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第 18 条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

15. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

資源循環領域長 大迫 政浩

Tel 029-850-2540

E-mail mosako（半角で@nies.go.jp をつけてください。）

（2）処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 川尻 麻美

Tel：029-850-2316

E-mail：saiyo（半角で@nies.go.jp をつけてください。）

16. 公募番号

R04-K-03